

日本地衣学会 No.171

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次

会員通信	671
マダガスカルで調査を行って ～アンタナナリヴ、アンカラファンチカ国立公園について～ ／上田 菜央.....	671

会員通信 From Members

マダガスカルで調査を行って

～アンタナナリヴ、アンカラファンチカ国立公園について～

Conducting Research in Madagascar

~About the Antananarivo City and the Ankarafantsika National Park~ / by UEDA Nao

>>>>>>> 上田 菜央：京都大学農学研究科森林科学専攻修士課程2年

はじめに

2023年1月末から3月中旬まで、マダガスカルのアンカラファンチカ国立公園にて調査を行いました。ここは所属研究室（熱帯林環境学研究室）の調査地の一つでしたが、コロナ禍以降に分属された私にはあまり縁のない場所でした。しかし、コロナ禍にともなう海外渡航の規制が徐々に緩くなり、マダガスカルの調査をする先輩・同期が増え、それなら私も…！となったのがきっかけです。この記事では、初めての長期海外調査の思い出を振り返ろうかなと思います。

* * *

首都アンタナナリヴ

伊丹一成田一仁川（韓国）ーアディスアベバ（エチ

オピア）ーイヴァト（マダガスカル）と乗り継いでたどり着いた、首都アンタナナリヴ。市街地には街路樹が少なく、地衣類もあまり見られない環境でした。交通量が多く、排気ガスが蔓延していたことも原因かもしれません。

ここで最も驚いたのは、地元スーパーのレシートにFSC（Forest Stewardship Council）マーク [図 1] が印字されていたこと。学部で私が初めて勉強した森林認証マークの一つです。マダガスカルでも同様に環境問題への取り組みが行われていることに親近感を覚えました。

<FSCマークについて詳しくはこちら https://jp.fsc.org/jp-ja/About_FSC >



図1. レシート裏のFSCマーク.

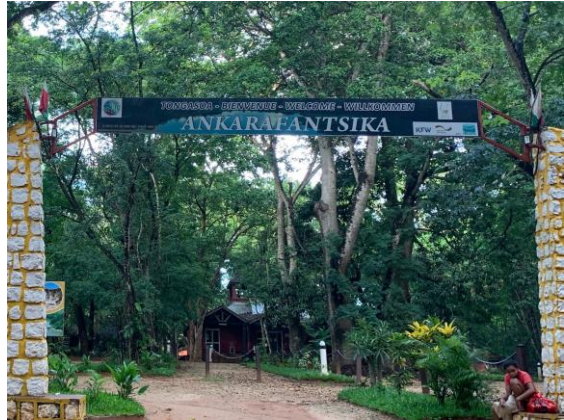


図2. 国立公園の入り口.

* * *

アンカラファンチカ国立公園

アンタナナリヴからコティス（観光バス）で13時間の場所、アンカラファンチカ国立公園 [図2] が今回の調査地です。ここは、地元の人々の生活の場・観光地・研究者のための調査地という3つの機能を持っています。私はこの地のキャンプ場にテントと寝袋で生活していました。

調査地だけでなく、キャンプ場でも多様な生物と出会えました。中でも、テントに住み着いていたヨスジオビトカゲ (*Zonosaurus quadrilineatus*) [図3] や夜に遭遇したウスタレカメレオン (*Furcifer oustaleti*) [図4] が印象的でした。

地衣類に関しては、「シファカの木」と呼ばれていた樹木について紹介したいと思います。アンカラファンチカ国立公園では、あまり地衣類について認識されていませんでした。この調査地には、シファカ [図5] というキツネザルが生息しており、このシファカのような模様の樹皮を持つ樹木を「シファカの木」 [図5] という俗称で見分けている方がいらっしゃいました。この樹皮の模様は樹木ではなく地衣類が作っているという話をしたところ、地衣類に関して興味を持って



図3. ヨスジオビトカゲ.



図4. ウスタレカメレオン.



図5. シファカ（左）とシファカの木（右）。

ただきました。まだ地衣類についてあまり知られていないアンカラファンチカ国立公園での調査は、手探りながらも充実した時間になりました。

* * *

おわりに

今回は、マダガスカルの様子についてまとめてみました。調査については、本年度の学会大会で発表させていただく予定です。ご感想等お伝えいただけると嬉しいです。長文になりましたが、ご覧いただきありがとうございました。

◆原稿募集

本誌は、会員からの原稿を随時募集しています。地衣類にまつわるエピソード、思い出、あるいは地衣類に関する写真とタイトル、簡単な説明文だけでも受け付けます。電子メールにて次のアドレス宛に投稿御願います：
bandomakoto@aa6.mopera.ne.jp（坂東 誠）

●複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体からの許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会。

Tel: 03-3475-5618. Fax: 03-3475-5619. E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA.
Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the Japanese Society for Lichenology.

Except in the U.S.A.: Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC).
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan. Tel: 81-3-3475-5618. Fax: 81-3-3475-5619.
E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

In the U.S.A.: Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA. Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744.

● *Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 171, pp. 671–674: eds. Bando M., Kawasaki E., Tanaka K., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 8 June 2023.

日本地衣学会ニュースレター171号

発行日：2023年6月8日

編集：坂東誠・河崎衣美・田中慶太

発行者・発行所：日本地衣学会

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2

千葉県立中央博物館内

©2023日本地衣学会 (© 2023 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。